

## 青森港本港地区景観形成モデル事業

受賞機関 国土交通省東北地方整備局青森港湾事務所

### はじめに

青森港本港地区では、景観形成モデル事業として老朽化した港湾施設の再開発を進めてきた。

景観形成モデル事業とは、港の特色を生かした良好な景観形成を図るためモデル的な港湾において景観形成のための計画を策定し、これに基づき港湾景観を積極的に向上させる事業であり、青森港は平成7年10月に第一次承認港として全国7港の一つとして承認されている。

### 事業概要

- ・岸壁（-10m）280m

[ 旅客船、耐震強化岸壁 ]

事業期間：平成7年度～平成14年度

事業費：約82億円

- ・防波堤（北）310m

[ 親水防波堤、愛称：青森ベイプロムナード ]

事業期間：平成4年度～平成15年度

事業費：約66億円

### 事業の特徴

岸壁（-10m）は、国内外のクルージング需要増加に対応するため、東北地方では初となる3万トン級大型旅客船バースとして整備を行ったもので、災害時には、緊急物資輸送の拠点として機能を果たすよう耐震強化されている。岸壁エプロン部には、大



旅客船の着岸状況

型旅客船からの視線を意識して縦8m×横11mの青森の四季を表現したモザイク画を配置し、訪れた旅客の目を楽しませるとともに歓迎の意を表している。クルーズ船社へのヒアリングでは、「専用岸壁であるため他の船舶との競合がなく利用しやすい」、「市街地と近接しているため買い物など便利である」と高い評価を受けている。

防波堤（北）は、上部工をボードウォークと自然石舗装仕上げとし、展望デッキ、階段ベンチ、手摺付きスロープ、休憩用ベンチ等を設けた親水構造となっている。また、防波堤の先端部には周辺景観との調和に配慮した円錐形のデザイン灯台が配置されている。防波堤からは、青森市内の町並みを一望することができ、平成16年4月の供用開始以来多くの来訪客で賑わっており、「眺めが最高!」、「船の甲板を感じさせるデザインが素敵」など意見をいただいている。

今後は青森駅、中心市街地に近接した立地条件を活かしつつ、解放された魅力溢れるウォーターフロント空間として多くの人々に親しまれ利用されていくことが期待される。

賛助会員 五洋建設(株)東北支店、(株)ダイヤコンサルタント東北支社、東亜建設工業(株)東北支店、東洋建設(株)東北支店、みらい建設工業(株)東北支店



デザイン灯台